土木学会論文集編集委員会 JSCE 土木学会 社団法人 n Society of Civil Engineers To English Version メインメニュー 本人情報変更 利用の手引き ログアウ 土木学会論文集 投稿システム 新規投稿 ○ 新規投稿 の方はこちらから 登録内容変更・修正原稿提出・最終原稿提出 ○ 登録内容変更・修正原稿提出・最終原稿提出 はこちらから Word自動組版 手引き こちらを ○ Word自動組版ツール利用 の方はこちらからお願いいたします。 クリック グローバルサイン原証サイト SSL secured 配 GlobalSign。 クリックして検証

**⊘** Google

図1 「Word自動組版ツール」の入り口画面

◆ ► 🏠 + 🕝 https://jjsce.jp/

Word自動組版ツール」の特徴

的にJ-Stage用書誌情報を生成します。

自ら段組やフォント指定など細かなレイアウ を生成することができます。 (2)Wordのスタイル機能を活用し、著者が 1)Wordファイルから査読・登載用P D

いる皆様におかれましては、このシステムへの早 化を図っていく予定です。Wordを利用して 版ツール」を主たる投稿受付機能として一 開始いたします。将来的には「Word自動 割以上がマイクロソフト社のMS-Word(以 めの切り替えを準備願います。 て「Word自動組版ツール」による投稿受付を 月1日より従来のPDF投稿受付と並行し てきましたが、実用化に達したと判断し、 Word)を使って投稿している現状を踏まえ、 読システムのリニューアルに続き、投稿者の 標準で備えている「スタイル」機能を活用した 投稿用PDFの作成支援システム=Wordが Word自動組版ツール」のテスト運用を行っ 土木学会論文集編集委員会では、投稿 査

### 土木学会論文集編集委員会 JSCE . マニュアルを 最初にクリック (word7) (ARTYTO-178) (ARERERA

図2 「Word自動組版ツール」のトップ画面

## を生成します。 指定していくことで投稿要領に沿ったPD トを作成することなく、テキストにスタイルを (3)同時に、スタイル指定をすることで、自動

## Word自動組版ツール」の作業手 順

最初に必ず「自動組版用Wordファイル作

1運用を開始

### $\mathbb{P}^{\mathbb{R}}$ $\mathbb{C}^{\mathbb{R}}$ $\mathbb{C}^{\mathbb{R}}$ 「土木学会の動き」から注目の活動を取り上げました

jsce ....

ステップ1:Word用の専用テンプレートを ださい。続いて、以下のステップを実行します。 成マニュアル」を開き、最後まで目を通してく

表示されるスタイル指定をします ステップ2:テンプレートのWordファイルに ダウンロ しテキスト原稿を貼り 付

### ステップ1 テンプレートのダウンロード

ステップ1、専用テンプレートの参考と直接の配合 143アンプレートファイルをデクシロード 下記リンク気にあります、Word和のテンプレートファイルをデクンロードしてください

土木学会論文集編集委員会 十半点号周本書組織委員会

自動組版用Wordファイル作成マニュアル



土木学会論文集 投稿システム

こでは、マイクロソフト社会MS-Woodが簡単で購入ている「ステイル」機能を送用した。土木学会能文集の「安徽要権および登集の公 (は下・学年後、Jに実施したDFRの作成方法(Wood回転能能システム)について述べています。なお、MS-Woodのパージョンは JOOPの手持たしていまった。 民業者は3つのステップで労権利のDPアファイルを包ェします。

ステップ2 スタイルの指定



ステップ3 PDF変換

です(一部有料予定))。

「Word自動組版ツール」を利用したPDF作成までのステップ

# 「Word自動組版ツール」のメリット

けで、 の関 たレイアウト作成を行います。 ておき、最後に所定のスタイルを指定するだ ることなく)ベタ打ちしておき、jpeg形式で 識する必要はありません。テキストはその ①レイアウトを意識する必要はありません まま(フォントやポイント、位置などを気にす [像ファイル化した図・表・写真はテキスト 投稿者は論文作成時にはレイアウトを意 .係の深い行の位置に改行して貼り 一自動的にシステム側で投稿要領に沿 付け

# ラーを表示します ②要領に沿っていない場合には当該個所のエ

ファイルをアップロードしPDFに自動変換 ステップ3:スタイル指定の終わったWord

DF内にエラー表 示やマーカー表 スタイル指定したWordファイルに れなどがある場合には、 変換 **K**結果 公示で注 画 指 面 定 ゃ

なり、

進んで最終版を作成し、ダウンロードしたうえでその

"エラーがなくなったら

「確定用」に

最初は「トライアル用

①で何回かトライ&エラー

,DFファイルを投稿画面にアップロードします

き ③何度でも繰り返しチェックできます 意を喚起します。

# します ④J-Stage用書誌情報ファイルを自動生成

誌情報ファイルを自動生成します 文公開までの時間の短縮を図ることができ スタイル指定をすることで、J-Stage用 ので、 論

などこれまで校正専門業者を介して行って ⑤レイアウトに関する校正が不要となります フォントや行間などの要領に定めた修

1

とができます。 いたレイアウトに関する校正作業が 論文公開 までの時間の短縮を図るこ ~不要と

るので、これまで投稿者の側で用意いただいた

Wordファイルから自動でPDFを作成す

DF作成専用ソフトは不要となります。

これらを通じて、編集作業の効率化と経費

ができます。 要領に合うまで何度もトライアルがで 満足のいく仕上がりとなるまでチェック

### 今後の段 段階的運 用

:減を図ることができます。

は続報として学会誌にてお知らせします)。 以下のような案で進める予定です(詳 30 )投稿者による試用運用期間(8) 実施済み) 23

た。ご協力いただいた皆様、ありがとうござい ために、実証実験を実施させていただきまし この期間に、実用化に向けた改良を進める

す。この期間以後は一 用を推奨します り替えのための準備期間とし、こちらの DFのどちらでも正式な投稿ができま 成 従来の投稿者自身が作成したPDFファ の P 「Word自動組 DFファイルのみとなります 「Word自動 版ツール」で作成 組版ツール」 かで、 L

ルをご利用いただけない場合、別途対応予定 3 のPDFファイルのみを受付けます(本ツー 正式な投稿は「Word自 )本運用期間(20 1 動 年 超版ツ 1 シル 以 降 作

# ⑥PDF作成のための専用ソフトが不要と